

令和6年度 実務者会報告



令和6年度自立支援協議会 第1回本会議資料

1. 令和4年度から令和6年度への実務者会の流れ

令和4年度実務者会

芦屋の教育・インクルーシブ教育について考える

ライフステージ全体を可視化できる仕組み

令和5年度実務者会

動画を活用することで、専門部会で取り組んでいる“ライフステージツール”がよりわかりやすくなり、つながりやすいものになる。

実務者会・専門部会のあり方について今の仕組みの振り返りをしても良いのではないか。

令和6年度実務者会

1. 実務者会・専門部会のあり方について検討。
2. 過去の専門部会の取り組みについて評価。
3. “座談会”の開催。

令和5年度専門部会

障がいがある人の『現在地』がわかるライフステージのフローを作成する

令和6年度専門部会

専門部会の「ライフステージを見通せるツール」に動画や画像など視覚情報を使うことで、情報をイメージしやすく、気軽につながる流れを作る取り組みを行う。

2. 令和6年度 実務者会実施報告

第1回（令和6年5月30日）

前年度の議論を振り返り、今年度の取り組みの方針について協議した。

<前年度の実務者会での決定事項>

1. 実務者会、専門部会のあり方について振り返り、柔軟な発想で芦屋の部会制度を再考する。
2. 過去の自立支援協議会での取り組みを総括する。
3. 座談会の開催

今年度、この3つについてどう取り組むか

- 座談会については見送る事が決定。（今年度は見直しの年にする）。
- 過去を知らない構成員もいる中で、共通の議論の土台を作って議論を進める必要がある。
- 現在の実務者会、専門部会の仕組みになった経緯を振り返り、改めて自立支援協議会のシステムを再考する。

第2回の議題

2. 令和6年度 実務者会実施報告

第2回（令和6年6月25日）

令和3年度時の実務者会・専門部会の仕組み改編の際の理由となった課題について再評価の議論を行った。

<令和3年度のシステム改編の理由となった課題>

- ① 人材の問題・・・担い手不足
- ② 地域課題抽出の課題・・・広く地域の課題を拾うことができているか？
- ③ 「やりっぱなし」の課題・・・自立支援協の取り組みとして解決・解消に繋がったか。

現在の実務者会、専門部会の仕組みの振り返り

- 興味を持ってもらい、担い手が増えたか？
- 広くたくさんの方から地域課題を聞けているか？
- やりっぱなしになっていないか？

これらについて構成員で検証を行った。

第2回（令和6年6月25日） 令和3年度時の実務者会・専門部会の仕組み改編の際の理由となった課題について再評価の議論を行った。

● 興味を持ってもらい、担い手が増えたか？

- ・ 事業所内では担い手のローテーションが進んでいるが市内にはそもそも事業所数が少ない。
- ・ 自立支援協議会の存在や取り組みをもっと知ってもらう。学校や保護者にも。

そのために
自立支援協議会そのものを知ってもらう。
もっと周知が必要

● 広くたくさんの方から地域課題を聞いているか？

- ・ 座談会への参加がそもそも難しい。（平日日中）
- ・ Zoomやチャットオンラインフォームなど活用すれば広がるのでは。など

そのために
チャットやリモート会議システムを活用
座談会の仕組みをもっと周知する。

● やりっぱなしになっていないか？

- ・ 評価。どのタイミングが適性か。評価システムは？
- ・ 専門部会の取り組みを知らない人がいる。知っていればもっと活用してもらえる。
- ・ 本会議含めて評価の仕組みを見直しては？

そのために
評価のタイミング、評価の方法などについて具体的な仕組みを考える。

自立支援協議会をもっと知ってもらう。

2. 令和6年度 実務者会実施報告

第3回（令和6年7月25日）の議題

①から③の具体的なプランは？どう取り組む？

1 自立支援協議会そのものを知ってもらう。
もっと周囲への自立支援協議会の周知が必要。

2 フォームやチャット、オンライン会議などを活用した、意見集約のチャネルをつくる。
座談会の傍聴の仕組みどうするか。
座談会の仕組みをもっと知ってもらう。

3 出来上がり評価、運用評価、評価にもいろいろある。どういう評価が良いのか？
もっと知ってもらうことで、活用の方法、評価方法も大きく変わるのでは？
自立支援協本会議での評価の仕組みはできないか？

構成員が実際の運用アイデア、簡単な実行プランのアイデアを持ち寄って、実務者会の今年度取り組みのたたき台案を作成する。

イベントや広報誌、冊子、チラシ、SNS、ホームページを活用して自立支援協議会を周知する。

オンラインなどを活用した座談会を作る

利用者の感想・意見、具体的な成果物を実際に利用してどうだったのか、利用した方からWebフォームなどで随時聞き取る。

第4回の検討議題

役割、取り組み実績など自立支援協議会そのものを周知する。
担い手を増やす取り組み

座談会の工夫、新しい意見集約の試み

やりっぱなしにしないための取り組みの検討

年間のプラン